

ORACLE PRIVATE CLOUD AT CUSTOMER

ORACLE[®] Private Cloud at Customer



おもな機能

- クラウドのシンプルさをオン・プレミスで
- サブスクリプションの価格体系で、すでにお持ちのライセンスを有効利用 (BYOL)
- IT管理の効率化
- 10GbEローカルネットワーク接続は、パブリッククラウドよりも優れた応答時間を実現
- コンプライアンスおよびデータ主権要件を満たすためのオン・プレミス展開
- オラクルはお客様のデータセンターに対してサービスとして運用および提供
- インフラを運用するのではなく、ビジネスの向上にスタッフを集中

Oracle Private Cloud at Customer は、データを社内に保持しながら、ITリソースの展開における俊敏性を向上させたいお客様に、オラクルのエンタープライズグレードの IaaS サービスを提供します。

Oracle Private Cloud at Customer は、クラウドのメリットを望んでいるが、データの主権要件、業界の規制、企業ポリシー、セキュリティ上の制約、ネットワーク遅延、等の懸念からデータベースをパブリッククラウドに移行できないお客様に最適です。または、他の密接に結合されたオン・プレミス IT インフラストラクチャから、離れることができない場合も同様です。

ORACLE PRIVATE CLOUD AT CUSTOMER

Oracle Private Cloud at Customer は、オラクルのクラウド専門家が管理するインフラストラクチャを使用して、オラクルおよびオラクル以外のアプリケーションをお客様のデータセンターで実行できるようにします。お客様の Oracle Private Cloud は、世界中の何千ものミッション・クリティカルな Oracle Private Cloud Appliance を使っていただいているサイトで証明されているベストプラクティスに従って事前設定されています。

Oracle Private Cloud at Customer は、ミッションクリティカルなアプリケーション (Linux、Microsoft Windows、または Oracle Solaris) のアプリケーションを迅速かつ容易に展開できるように設計されています。

高性能、低遅延の Oracle Fabric Interconnect と Oracle Software Defined Networking を使用することで、サーバーとストレージ・ネットワークを自動構成できます。顧客は、基本的な構成パラメータのみを入力し、手動または Oracle VM Templates を使用して仮想マシン (VM) を作成するだけで、完全なアプリケーションを数時間で稼働させることができます。

最後に、Oracle Private Cloud at Customer 上のすべてのクラウドサービスの価格は、サブスクリプションベースであり、オラクルによって完全に管理されています。1つのサブスクリプション費用には、ハードウェア、ソフトウェア、そしてすべての管理およびサポートサービスが含まれます。

サブスクリプション概要

- OracleおよびOracle以外のワークロードを開発、配置、および管理するための1つのプラットフォーム
- サービスクラウド管理としての統合ITのためのOracle Enterprise Managerと統合
- 完全なハードウェアおよびソフトウェアスタックに対する単一ベンダーのサポート

関連商品

- Oracle Cloud Services
- Exadata Cloud at Customer
- Oracle Private Cloud Appliance

関連サービス

- Oracle Consulting Services
- Oracle University

Oracle Private Cloud at Customer は、最短 4 年間のサブスクリプションサービスを通じてご利用いただけます。

サービス概要

お客様は、管理サーバーやその他のサポートインフラストラクチャ、最低 2 台のコンピューティングサーバー、および 1 台の ZS7-2 ストレージユニットを含む基本システムから始めて、Oracle Private Cloud のお客様の構成を選択します。お客様は、システムあたり最大 25 台のコンピュータサーバーを拡張できます。価格設定は稼働中の計算サーバーの数に基づいており、ビジネスが成長するにつれて、顧客は必要とする処理能力を満たすために計算サーバーを追加することができます。選択した構成用のすべてのコア、ディスク/フラッシュストレージ、およびメモリがサブスクリプション価格に含まれています。お客様の Oracle Private Cloud へのネットワーク通信は無料です。

顧客は、顧客のコンピュータで既存の Exadata Cloud と統合して、より高いコンピューティング、ネットワーク、およびストレージ容量を可能にし、アプリケーションとデータベース層間の待ち時間を短縮することもできます。

管理

お客様は、Enterprise Manager 13c IaaS ポータルを通じて VM 管理にアクセスできます。仮想マシンのプロビジョニングは、インポートされた ISO イメージ、または Oracle e-Delivery から入手可能な事前定義済みのテンプレートを使用して行われます。お客様は、アプリケーションのプロビジョニング、バックアップ、パッチ適用、およびアップグレードのために、Cloud Automation によって支援される使い慣れた OS 管理タスクを実行します。アプリケーションと OS のアップデートは、お客様が希望するスケジュールに従って開始します。InfiniBand ネットワーク、物理サーバー、ハイパーバイザー、ZS7-2 ストレージアレイなど、お客様の Oracle Private Cloud の基盤となるインフラストラクチャは、Oracle Cloud Operations によって展開、監視、維持および管理されます。これにより、顧客はインフラストラクチャの監視と管理ではなく、ビジネスアプリケーションの要件に集中することができます。

最高のエンタープライズ・ストレージ性能

お客様の Oracle Private Cloud Appliance には、200 TB の使用可能容量を持つ Oracle ZFS Storage Appliance ZS7-2 が付属しています。Oracle ZFS Storage ZS7-2 は、要求の厳しいエンタープライズ・アプリケーションと予測不可能なクラウド・ワークロードに必要な、最高のパフォーマンスと優れた効率を備えた統合ストレージ機能を提供します。Oracle Private Cloud Appliance と共同設計され、次の機能を提供します。

- Oracle Private Cloud Appliance にデプロイされたアプリケーションとワークロードのパフォーマンスを高速化します。OLTP データベースなどの IOPS を多用するワークロードや、データウェアハウス、ビジネスインテリジェンス分析、ビデオ処理などの帯域幅主導のワークロードに最適化されています。Oracle ZFS Storage Appliance は、Oracle Private Cloud Appliance の InfiniBand ネットワークを活用することで、さまざまなワークロードセットを同時に実行するのに十分強力です。



- 顧客が特定のワークロードを視覚化してドリルダウンし、輻輳が発生する場所とその理由を理解することを可能にする高度な管理およびリアルタイム分析ツール。また、VMレベルに至るまで、Oracle Private Cloud Appliance 環境のストレージの側面を調査および管理することさえ可能になります。
- Oracle Enterprise Manager を使用してストレージ管理を自動化することでリスクを軽減するため、顧客は統合および管理するストレージシステムが少なく済みます。また、優れた障害監視機能と自己修復機能を提供し、DTrace Analytics 機能を通じてセットアップと管理を簡素化することで、リスクを低減します。
- Oracle ZFS Storage Appliance は、その大規模な DRAM およびフラッシュ・キャッシュ・ベースのアーキテクチャが、大規模な仮想化環境から I/O を処理する上でより効率的であるため、複雑さを軽減します。さらに、Oracle Database の独自の Hybrid Columnar Compression 機能を Oracle Private Cloud Appliance と組み合わせて使用すると、データウェアハウスに必要なストレージの量が削減されます。また、必要なシステムの数が減り、管理が容易になるため、総所有コストを削減できます。

ORACLE ADVANCED SUPPORT GATEWAY によるリモート・モニタリングとサポート

Oracle Private Clouds at Customer のもう 1 つの重要なコンポーネントは、Oracle Advanced Support Gateway (OASG) です。OASG は、Oracle Advanced Support Platform の一部であり、世界中の主要な顧客サイトで多数の Oracle Support Services を促進するために長年使用されてきました。

OASG は、Oracle Private Cloud at Customer の遠隔監視および管理を容易にするための中心的な役割を果たします。OASG は、Oracle Linux オペレーティングシステムに基づいており、自動サービス要求 (ASR) や Oracle Configuration Manager など、Oracle ソフトウェアのフルスタックをホストしています。これらのアプリケーションを組み合わせ、顧客環境の Oracle Private Cloud からテレメトリメッセージを集約し、Oracle サポートサービスのインフラストラクチャにルーティングします。OASG は、監視およびメンテナンス目的で、Oracle Cloud Operations が顧客インフラストラクチャの Oracle Private Cloud にアクセスするための安全なリモートアクセスを提供します。

OASG は、監視している Oracle Private Cloud at Customer にネットワークアクセスできる顧客データセンターにあります。インターネットに直接接続する必要はありませんが、TLS / VPN トンネルを介して Oracle Cloud Operations インフラストラクチャから継続的にアクセス可能である必要があります。

ORACLE CLOUD OPERATIONS

Oracle Private Cloud at Customer に関連するすべてのハードウェアおよびソフトウェアインフラストラクチャは、Oracle Advanced Customer Support (ACS) がつかさどる Oracle Cloud Operations によって管理および保守されています。これは、次の Oracle Advanced Support Platform を介して行われます。

- Oracle Advanced Support Service を提供するための自動化ツール
- Oracle アドバンスドサポートゲートウェイ
- Oracle Cloud Operations デリバリーチーム

Oracle Private Cloud at Customer のインフラストラクチャ管理は、次のコンポーネントの管理で構成されています。

- 管理ノード
- 計算ノード
- Oracle F1-15 ファブリックディレクタ
- 内蔵 ZS5-2 ストレージプライアンス
- Oracle ZS7-2 ストレージプライアンス
- InfiniBand ネットワークとスイッチ
- デュアル 10GbE インターコネクトスイッチ
- 管理スイッチ
- 配電ユニット (PDU)
- Oracle VM (ハイパーバイザー)
- システムソフトウェアとすべてのファームウェア

Oracle Cloud Operations がインフラストラクチャを管理し、Oracle Private Cloud at Customer をサポートすることで、インフラストラクチャ保守プロジェクトに煩わされることなく、コアビジネスに必要なアプリケーションおよびビジネスロジックに集中できるようになります。これにより、顧客は製品化までの時間を短縮し、可用性を高め、ビジネスリスクを軽減することができます。

これはまた ACS のグローバルなビジネスおよび技術的専門知識を顧客データセンターに直接もたらします。10 年以上にわたり、ACS は、優れたグローバル機能とローカルサービスの親和性を通じて、4000 社を超える世界中のお客様が Oracle への投資を迅速に回収できるよう支援してきました。ACS には、平均 15 年のオラクルの経験を持つ 3000 人以上の専門家がいて、24 時間 365 日の監視と管理を 10 万人以上のターゲットに提供しています。ACS は、ISO 27001 : 2013 および SSAE16 / SOC 1 Type II 準拠のグローバル・コンピテンス・センターを利用して、このような優れたサービスを提供しています。

一連の Cloud Operations Services は、顧客の Oracle Private Cloud への加入の一環として顧客に提供されます。これらのサービスはすべて、Oracle Cloud Operations によって提供されています。提供される主なサービスは次のとおりです。

ORACLE PRIVATE CLOUD AT CUSTOMER

Oracle Cloud Operationsによって提供されるサービス

<p>インストールと構成: サイト監査、設置と構成、ハードウェア、ネットワーク、およびオペレーティングシステムの機能検証を含む包括的な標準システムハードウェアの設置</p>	<p>監視: 予測モニタリングは、24 時間 365 日の予防的システムモニタリングを提供します。これらのサービスは、潜在的な問題を事前に通知することでアップタイムを確保し、サービスレベルを向上させ、スタッフがコアビジネス活動に集中できるようにします。</p>
<p>変更管理: すべての変更要求とメンテナンス記録を管理することによって、予防的な方法で Private Cloud at Customer 環境の整合性を維持します。</p>	<p>インシデント管理と解決: システム管理とインシデント解決のための ITIL ベースのプロセスと技術的専門知識</p>

<p>Oracle Cloud サポート: 製品サポートのための Oracle Private Cloud at Customer のハードウェアおよびソフトウェアコンポーネントに対するサービスリクエスト (SR) の管理</p>	<p>バックアップと復元: Oracle Private Cloud at Customer のマネージメントノードの定期的なバックアップ</p>
<p>更新: 新しいクラウドサービスのオンボーディング管理と既存サービスの強化</p>	<p>パッチ適用: 基盤となる Oracle Private Cloud Platform を予防的に最新の状態に保つためのパッチの定期的なデプロイ</p>

プロビジョニング

Oracle Private Cloud at Customer をサブスクライブすると、指定された顧客の IT スタッフと協力して Oracle Cloud Operations が次のデプロイ手順を実行します。

- Oracle Advanced Support Gateway のデプロイ
- Oracle Private Cloud at Customer のデプロイ
- Oracle Private Cloud at Customer へのゲートウェイの接続
- 必要なネットワーク/IP アドレス情報の取得、および必要な設定ファイルを生成するためのコマンドの実行

Oracle Private Cloud at Customer システムがプロビジョニングされると、指定された顧客アカウント管理者に、そのサービスが使用可能であることが通知されます。顧客は、含まれる Enterprise Manager 13c を通じて、非常に簡単な方法でユーザーとグループを作成し、自分の VM とアプリケーションを作成、監視、および管理する権限を割り当てることができます。

ORACLE PRIVATE CLOUD AT CUSTOMER の拡張

Private Cloud at Customer を使用すると、割り当てられたインフラストラクチャを拡張することで、顧客はビジネスを簡単に拡張できます。お客様は既存のシステム内に計算ノード処理能力を追加することで、プライベートクラウドをスケールアップすることができます。

結論：IT を変革し、ビジネスの可能性を解放

Oracle Private Cloud at Customer は、最も用途が広く、可用性が高く機能的なアプリケーション・プラットフォームを特長としています。オンプレミス・クラウド・ソフトウェアのシンプルさと費用対効果は、顧客の施設に配置されます。エンタープライズ・アプリケーションは、生産性を最大化し、リスクを軽減し、価値実現までの時間を短縮するために簡単にデプロイできるようになりました。最後に、Oracle Private Cloud を使用すると、組織はインフラストラクチャの管理と保守に限られた IT 人材を費やす必要がなくなります。

ORACLE PRIVATE CLOUD AT CUSTOMER

技術仕様

	スケーリング構成		コンパクト構成 ¹	
	最小構成	最大構成	最小構成	最大構成
サーバー数	2	25 ²	2	9 ³
最大コア数	96	1200	96	432
総メモリ(GB)	1,536	19,200	1536	6,912
使用可能ディスク容量 (TB) ⁴	200	200	200	200
ネットワーク接続性	4x 10 Gb イーサネットポート 1x 1Gbイーサネットポート (OASG)			

- コンパクト構成には、コンピュータノードと同じラックに ZS7-2、Oracle Advanced Support Gateway、およびカスタマーアクセスネットワーク用のイーサネットスイッチが含まれます。
- スケーリング構成では、ラックで使用される PDU が 24 KVA の場合 25 台、22 KVA 1 フェーズの場合 23 台、15 KVA PDU の場合 13 台の計算ノードが最大搭載可能です。
- コンパクト構成では、ラックで使用される PDU が 24 KVA または 22 KVA 1 フェーズの場合 9 台、15 KVA PDU の場合 6 台の計算ノードが最大搭載可能です。
- 使用可能容量は、1 TB = 1024 * 1024 * 1024 * 1024 バイトの 2 スペースという用語の通常の累乗を使用して測定されます。これは、冗長性に必要なスペースを考慮し、ドライブ障害から回復した後で、圧縮前に使用可能な実際のスペースです。

技術仕様に関する補足事項:

- 各ラックの高さは 42 RU (ラックユニット) で、2 台の冗長配電ユニット (PDU)、2 x 36 ポートの QDR (40 Gbps) InfiniBand スイッチ、および Oracle Cloud Operations によるインフラストラクチャ管理用の 2x48 ポートの Cisco イーサネットスイッチがあります。
- 各サーバーには、2x1.2TB のローカルドライブがあります。

ORACLE PRIVATE CLOUD AT CUSTOMER

環境仕様

単位	スケーリング構成		コンパクト構成 ¹	
	最小構成	最大構成	最小構成	最大構成
最大電力利用時(KW)	8.07 KW	21.41 KW	12.62 KW	16.68 KW
標準電力利用時 (KW)	5.65 KW	14.99 KW	8.83 KW	11.68 KW
最大冷却 (BTU/hr)	27,558	73,101	43,085	56,946
標準冷却(BTU/hr)	19,290	51,170	30,159	39,862
最大エアフロー(CFM)	1,276	3,384	1,995	2,636
標準エアフロー(CFM)	893	2,369	1,396	1,845
OPCC ラック重量	534 kg (1,177 lb)	951 kg (2,097 lb)	711 kg (1,567 lb)	837 kg (1,847 lb)

動作温度

- 5°Cから32°C (59°Fから89.6°F)、10%から90%の相対湿度、結露しないこと
- 標高動作温度：規制により設置が最大高度6,560フィート (2000 m) に制限される場合を除き、最大10,000フィート (3,048 m)、最高周囲温度は900 mを超える300 mごとに1°Cディレーティングされます。

外形寸法

- 高さ: 42U, 78.66 in 1998 mm
- 幅: 23.62 in – 600 mm
- 奥行き: 47.24 in – 1,200 mm

準拠規格^{2,3}

安全性

- UL/CSA 60950-1, EN 60950-1, IEC 60950-1 CB スキーム、各国の規定に準拠

EMC

- エミッション: FCC CFR 47 Part 15, ICES-003, EN 55032, KN32, EN61000-3-11, EN61000-3-12
- イミュニティ: EN 55024, KN35

エミッションとイミュニティ

- EN 300 386

認定規格²

- 北米 (NRTL)、欧州連合 (EU)、国際CBスキーム、BIS HSE 免除(インド)、EAC(EAEU)、BSMI (台湾)、RCM (オーストラリア)、MSIP (韓国)、VCCI (日本)
- EU指令
- 2014/35/EC低電圧指令、2014/30/EC EMC指令、2011/65/EU RoHS指令、2012/19/EU WEEE 指令

¹上記の標準および認定規格は、このデータシート執筆時点の最新の公式バージョンに基づきます。

²他国の準拠規格/認定規格も適用されます。

³準拠規格や認定規格の遵守はコンポーネント・レベルで実現されている場合があります。

お問い合わせ窓口



TEL 0120-155-096
URL oracle.com/jp/contact-us

blogs.oracle.com/oracle

facebook.com/oracle

twitter.com/oracle

Integrated Cloud Applications & Platform Services

Copyright © 2019, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved. 本文書は情報提供のみを目的として提供されており、

ここに記載される内容は予告なく変更されることがあります。本文書は一切間違いがないことを保証するものではなく、さらに、口述による明示または法律による黙示を問わず、特定の目的に対する商品性もしくは適合性についての黙示的な保証を含み、いかなる他の保証や条件も提供するものではありません。オラクル社は本文書に関するいかなる法的責任も明確に否認し、本文書によって直接的または間接的に確立される契約義務はないものとします。本文書はオラクル社の書面による許可を前もって得ることなく、いかなる目的のためにも、電子または印刷を含むいかなる形式や手段によっても再作成または送信することはできません。

Oracle および Java は Oracle およびその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称はそれぞれの会社の商標です。

Intel および Intel Xeon は Intel Corporation の商標または登録商標です。すべての SPARC 商標はライセンスに基づいて使用される

UNIX は、The Open Group の登録商標です。0618

| Oracle is committed to developing practices and products that help protect the environment

ORACLE®